

発行日 令和2年2月1日

★ 福まちだより ★

ふれあい東月寒

【第33号】

発行 東月寒地区
福祉のまち推進センター

発行部数 8,100部

札幌市豊平区月寒東3条17丁目
東月寒まちづくりセンター内
Tel/Fax (011) 853-2913

ふれあい年賀状と交流会に関して

2019年12月12日、ふれあい年賀状交流会が開催されました。内容は数年前より福まち事業として、高齢者安否確認対象の方々（以下、対象者という）に東月寒中学校の生徒さん達に年賀状を作成して頂き差し上げる事でありました。

そして、年賀状を受け取った方と作成した生徒さんが対面し交流会を行うものであります。交流会は、それぞれ自己紹介で始まります。

対象者の方々は平均年齢84歳、生徒さん達は14歳、年の差70歳の会合です。対象者の方に東月寒地域の50年前の様子を語っていただきます。

生徒さん達は、地域の50年前と現在の違いに驚きと興味をもって聞き入っておりました。現在は平地であるが以前は深い谷底だったことや、今は道路で車両が往来しているが以前は山林であったことなど、生きた社会勉強で有意義な知識と感じておりました。

又、生徒さん達に将来の希望や、自分の夢を語ってもらうと実にしっかりとした考えと、立派な語り方に感心させられました。

当日交流会に参加されたのは、校長先生、教頭先生、生徒指導先生、生徒13名、福まち対象者4名、福まち事務局、外、総数38名。

高齢化社会

最近、人生100年時代、働き方改革、長生きに関する事項を多く目にします。食生活では、季節に関係なく食品スーパーには豊富に陳列されております。

医療では、驚くほど病状に応じた薬品が手にすることが出来ます。このような環境にあれば長生き出来るのは当然のように思われます。しかし、生き物には限界もあります。体力に衰えもあります。長生きした分、健康である場合とそうでない場合があります。そんな時、対応として「**高齢者の身近な相談窓口**」として機関があります。

豊平区社会福祉協議会

- 高齢者の見守り活動について相談したい → 相談をうけます
- ボランティア活動やサロンの運営に携わりたい → 支援を行います

豊平区第2地域包括支援センター

- 介護保険について相談したい → 代理申請のお手伝いします
- 認知症について相談したい → 講話を行います
- 高齢者虐待の心配がある

豊平区介護予防センター

- 介護予防や健康づくりに興味がある
→ 講話、体操、脳トレ行います
- つどい等に介護予防を取り入れたい

日常生活に困りごとがある場合、ぜひ相談窓口にご声をかけてください

東月寒地区社会福祉協議会
会長 飯島 弘光



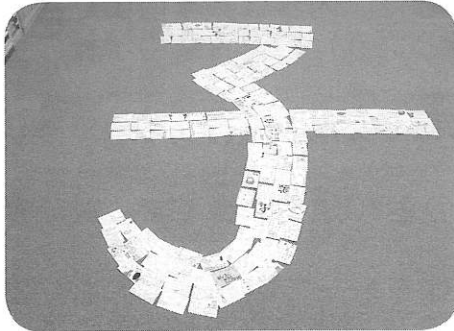
ふれあい年賀状

今年も東月寒中学校より年賀状が届きました！！

12月12日、生徒会長より福まち運営委員長への贈呈式が行われました。

この活動に参加を希望する生徒さん達の手作りによる200枚もの善意が寄せられました。

引き続き、生徒会役員13名と福まちに参加されているお年寄り4名の懇談会が催され、休憩時にはおやつプリンを頂きながら、毎年受け取った年賀状を持参し披露して頂いたり、白樺会館が現在地に移設された頃の思い出話等に驚き、又、生徒さんが皆しっかり将来の希望を持っている事に感心させられ、和やかで思い出に残る時間を過ごす事が出来ました。



事務局 佐々木

訃報

第一ブロックのブロック長をされていた佐藤暢與さんが昨年10月に亡くなられました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

後任として、ブロック長を中野禎子さん、副ブロック長を溝渕陽子さんに引き受けていただきました。

東月寒地区民生委員・児童委員協議会よりお知らせ

民生委員・児童委員（以下、委員と表記）は昨年12月、任期満了に伴う全国一斉改選が行われました。

委員には定年制がある為、当協議会でも6人が退任され、6人の新任委員が誕生しました。このうち4名が新たに福まち推進員として皆さんに仲間入りします。（2名は既に推進員です）定年退任以外の方は全員再任されました。

	新任		退任	役員	新任		退任
委員	小野 繁美 ←		藤 根 瑞 恵	会 長	佐々木 俊 明 ←		岩 本 節 子
	中野 禎子 ←		佐 藤 暢 與	副会長	今 村 美 智子 ←		品 川 国 幸
	三 浦 弘 子 ←		市 川 邦 光	庶 務	縄 田 昌 介		
	小野寺 正 ←		品 川 国 幸		(庶務：種村、会計：向島は継続)		
	五十嵐 純子 ←		上 平 武 紀				
	岩 本 宏 ←		岩 本 節 子				

退任委員の方々、岩本会長、品川副会長の長年の労に深く感謝申し上げます。

当協議会は、今まで通り安心・安全で住み続けたいと思う街づくりに、ささやか乍ら貢献出来る様、町内会連合会、福まち、行政等と連携、協力を深め活動していきたいと思っております。

東月寒地区民生委員児童委員協議会
会長 佐々木 俊明

❁ 思い出に残る「ふれあい交流お食事会」

閉じこもり予防として実施している「ふれあい交流お食事会」を11月6日（水）東月寒白樺会館において、42名（対象者19、推進員18、他5）の参加で開催しました。

推進員手作りの豚汁やシフォンケーキでのおもてなしに加え、第2地域包括支援センターの紙芝居「訪問販売」、介護予防センターによる手指体操、懐かしい歌の合唱と参加者全員が一体となり進行。



例年とは違った点は、偶然にHBCテレビ「今日ドキッ！」の取材があり、忘れられない出来事になったこと。後日の放送では、画面いっぱいにはじけるような笑顔が映っていて、楽しんでいる様子が伝わってきました。



第一ブロック長 中野 禎子

❁ 食事会

今期のふれあいお食事会は、介護予防センターの健康講話と第2包括支援センターの方々による寸劇『オレオレ詐欺の対応』の熱演により、楽しく、おもしろく、勉強になる劇に始まりました。



その後、推進員による手作りのランチを食べ、その後カラオケなどで楽しみました。

手作りの食事は、前日から下準備をしたり推進員の皆様ご苦労様でした。今年もよろしくお願ひいたします。



第二ブロック長 種村 久美子

❁ ふれあい食事会

10月30日、参加人数53名でお食事会をしました。会場は白樺会館です。いつもは、とん汁、カレーライスなどのメニューですが、今回は初めての試み「三平汁」です。推進員の知り合いの瀬棚の方から提供していただいた新鮮な「鮭」「そい」今金産の芋など豪華な食材です。作り手の皆さんも何度も打ち合わせをして臨んでくださいました。男性推進員の指揮で作った初めての作品です。当日は、朝早くから魚のアラ、昆布などで出汁を取り、仕上げに牛乳を入れるという私にはちょっとビックリな味付けでしたが、とても美味しかったです。包括支援センターの皆さんの寸劇、日舞「深山流豊稔会」の皆さんの素敵な踊りなど、最後は参加者全員で合唱して終わりました。楽しい一日でした。次回の行事にまた皆さんと笑顔でお会い出来る事、願っています。



第三ブロック 推進員 五十嵐 純子

✿ 昭和を思い出し

先日は呼んで頂きありがとうございました。

当日は私の話す時間がありませんでしたので、話そうと思っていたことを書いてみます。
～毎年、皆さんからの年賀状を拝見しております。

手書きで漫画などが入って楽しいものなどがあり、どんな人が書いているのだろうと想像していました。

私は樺太（現在ロシア領サハリン島）で生まれ、1945年に中学に入りましたが、その年8月に日本が戦争に負けてロシア領になり、学校は休校状態で勉強はできませんでした。

2年後、北海道に移りましたが（中学3年生のころ）家計のため田舎の木工所で働くことになり、結局、中学校にも高校にも上げられませんでした。

今日皆さんにお会いして澁刺と活動し、目を輝かして夢を追っている様子に感心し羨ましくさえ感じました。

中学、高校の時代は人生でも最も貴重で楽しい時だと思えます。

昭和の終わりころ「中学三年生(森昌子さん)」「高校三年生(舟木一夫さん)」などの唄がヒットしてよく歌われました。

また楽しい年賀状をお願いします。皆さん頑張って良い日本を創ってください。～

第四ブロック 対象者 吉田 ^{しげよし} 重美

ふれあいキッズ「ママの背くらべ」

ふれあいキッズでは、年中行事の一つに「ママの背くらべ」があります。保健師さん、実習生の方々に来ていただき、骨密度や血管年齢、体組成、血圧等を測定して、健康度チェックとアドバイスをいただいています。日常の日々に追われ、つい忘れがちな自身の健康にも注意を向けるきっかけとなればと思っています。

いつもとは違う雰囲気にもママから離れない子ども達も、ママの測定が終わるといつも通り楽しそうに遊び出す姿を見ていると、ほのぼのとした気持ちになり、元気をもらっています。

ふれあいキッズスタッフ 目黒 裕子



高齢者のご相談は地域包括支援センターへ

「地域包括支援センター」は札幌市の委託事業として市内27か所、豊平区には3か所設置されています。東月寒地区にお住まいの皆様は、豊平区第2地域包括支援センターが担当センターとして、住み慣れた場所でできるだけ安心して生活が続けられるようにお手伝いをさせていただきます。

「介護保険サービスを利用したい」「家族の介護はどうしたら」「物忘れが始まってきたかも…」など介護や福祉サービスの相談、「悪質商法にひっかかってしまった」「これからの財産管理が心配」「隣からいつも怒鳴り声が聞こえる」など高齢者の権利を守る対応なども行っています。



令和元年11月1日 東月寒児童会館
『認知症サポーター養成講座(寸劇)』の1コマ

地域の皆様にご協力を頂きながら、暮らしやすい地域づくりを一緒に考え、集まりの場での『出前講座』も行っています。電話・来所相談のほか、ご自宅への訪問も可能です。お気軽にご相談ください。

札幌市豊平区第2地域包括支援センター
札幌市豊平区西岡4条3丁目7-5
電話 011-836-6110